


学習者辞書の開発とその活用に向けて：
調査・研究事例から見える
文章作成時の学習者の辞書の使い方

「汎用的日本語学習者辞書開発データベース構築と
その基盤形成のための研究」
日本語学習辞書科研 第4回 全体研究集会
(於つくば国際会議場)
2013年3月18日


東京外国語大学留学生日本語教育センター
鈴木 智美
tmsuzuki@tufs.ac.jp



1. 本発表の内容

- 研究・調査事例
 - (1) 「JLPTUFS作文コーパス」 (2008年～2010年)
日本語学習者の作文データベース
 - (2) 留学生の辞書使用調査 (2010年～2011年)
(アンケート・インタビュー)
留学生はどのような辞書をどのように使っているか


学習者の辞書使用を
効果的・積極的に支援する方策



2. 研究事例(1)：「JLPTUFS作文コーパス」

- 東京外国語大学「全学日本語プログラム」(JLPTUFS)
 - 学習者の作文 (使用許諾を得たもの)
基本的な執筆情報とともに電子データ化
(テキストファイル、PDFファイル)
 - 現場の日本語教育活動のありようをデータベース化する
(「日本語教育アーカイブ化」)

国籍・母語背景、日本語レベル等、
多様な学習者の作文 計約1,500件



「JLPTUFS作文コーパス」

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
作文番号	PDFファイル	執筆年月	レベル	クラス	国籍	母語	専攻	作文のテーマ	作文のレベル	実施年度	収録時期	学籍状況
20081001001101	20081001001101	2008	初級	日本語	アメリカ	英語	英語	わたしの生活	初級	2008	2008	現職
20091001002101	20091001002101	2009	初級	日本語	アメリカ	英語	自己紹介	初級	2009	2009	2009	現職
20101001003101	20101001003101	2010	初級	日本語	アメリカ	英語	家族と将来の夢	初級	2010	2010	2010	現職
20091002001101	20091002001101	2009	中級	日本語	アメリカ	英語	日本文化	中級	2009	2009	2009	現職
20101002002101	20101002002101	2010	中級	日本語	アメリカ	英語	文化と教育	中級	2010	2010	2010	現職
20091003001101	20091003001101	2009	上級	日本語	アメリカ	英語	国際化と教育	上級	2009	2009	2009	現職
20101003002101	20101003002101	2010	上級	日本語	アメリカ	英語	国際化と教育	上級	2010	2010	2010	現職
20091004001101	20091004001101	2009	上級	日本語	アメリカ	英語	国際化と教育	上級	2009	2009	2009	現職
20101004002101	20101004002101	2010	上級	日本語	アメリカ	英語	国際化と教育	上級	2010	2010	2010	現職


sample

「調査：フリガナ」
(テーマ：わたしの生活)
(人種：アメリカ)
(学年：初級)
(執筆年度：2008)
(レベル：初級)

わたしの生活は、とても楽しいです。毎日学校に行き、勉強をしています。友達と遊ぶことも大好きです。週末には家族と一緒に過ごすのが好きです。将来は、日本で働くことが夢です。日本語を勉強して、もっと上手に話せるようになります。

わたしは	アメリカ	人種	アメリカ	性別	男	年齢	20	学年	初級	執筆年度	2008	レベル	初級
------	------	----	------	----	---	----	----	----	----	------	------	-----	----

図1 「JLPTUFS作文コーパス」イメージ図



「JLPTUFS作文コーパス」

表1 「JLPTUFS作文コーパス」収録作文データ数（国・地域別）

国	データ数	国	データ数	国	データ数
中国	223	ラオス	26	メキシコ	8
イタリア	107	中国(香港)	26	モロッコ	8
アメリカ合衆国	89	ロシア	22	シリア	7
イギリス	86	カナダ	21	ミャンマー	7
ドイツ	78	チリ	21	イラン	6
台湾	59	オーストリア	20	ウクライナ	6
スペイン	58	ポーランド	17	グアテマラ	6
韓国	56	オーストラリア	15	エストニア	5
カンボジア	49	エジプト	14	クロアチア	5
インドネシア	44	スロベニア	14	ニカラグア	5
タイ	44	フィリピン	14	アイルランド	3
ベトナム	36	スウェーデン	13	アゼルバイジャン	3
トルコ	35	ベルギー	13	オランダ	2
モンゴル	31	マレーシア	13	スロバキア	2
ブラジル	30	ハンガリー	12	ヨルダン	2
フランス	30	インド	10	レバノン	2
スイス	29	コロンビア	10	ニュージーランド	1
シンガポール	27	チェコ	10		
ウズベキスタン	26	ブルガリア	9	計	1,515

「JLPTUFS作文コーパス」

表2 「JLPTUFS作文コーパス」収録作文データ数（レベル別）

レベル	2009年度 春学期	2009年度 秋学期	2010年度 春学期	レベル別 計
100 (初級)	22	37	36	95
200 (初中級)	35	40	13	88
300 (中級1)	157	119	114	390
400 (中級2)	67	136	67	270
500 (中上級)	96	101	138	335
600 (上級1)	3	16	32	51
700 (上級2)	46	110	27	183
800 (超級)	72	15	16	103
小計	498	574	443	1,515
計				

「JLPTUFS作文コーパス」活用例

●鈴木智美・中村 彰（編）（2011）
『「JLPTUFS作文コーパス」の構築』報告書（CD別添）

- 研究ノート・論文（文法・談話、語彙・表記）
- 「日本語教育入門」の授業
 - 学部生が作文の添削を経験
 - 異文化理解・文化摩擦についてディスカッション
- 「辞書使用可」の作文：
 - 辞書を使用しても「言いたい表現」が的確に探し出せていない？



■ 鈴木（2010）初中級レベルの作文：
辞書の使用が引き起こす不自然な表現


「JLPTUFS作文コーパス」初中級レベルの作文から

●辞書の使用に関連すると思われる不自然な表現【例】

- [現代社会の交通について]今日の運動はとても便利だ
(母語:ドイツ語、初中級レベル) → 「移動」
- 大きな世界のかんきょうの会話があった
(母語:フランス語、初級後半レベル) → 「会議」
- [100年前と比べて]文学と科学と芸術は開発した
(母語:トルコ語、初中級レベル) → 「発展した」

■語の多義性

movement : 運動、活動、動作、移動、進展、変動、動向
talk : 会話、話、相談、協議、会談、講演、話題
develop : {発達・発展・開発・展開・進展・発現}する




●授業評価アンケート
 (東京外国語大学「全学日本語プログラム」)
 学習リソース: 「辞書をよく使う」
 2009年: 回答者の75% (春学期) / 79% (秋学期)

●教室で作文課題: 電子辞書
 スマートフォンの辞書アプリケーション

→ どんな辞書を / どのように使っているのか?

➡

- 辞書使用の実態
- 辞書の効果的な使用法




3. 研究事例(2): 留学生の辞書使用調査

●「辞書」使用についてのアンケート・インタビュー調査

■大学で日本語を学ぶ留学生が、いつ、どのような辞書を、どのように使っているか


- 東京外国語大学「全学日本語プログラム」の受講生対象
- 2011年1月~2月(アンケート) / 2011年7月~8月(インタビュー)
- 世界各国・地域からの約110名の日本語学習者(初級~超級レベル)からの回答
- 回答者のうち8名に詳細インタビュー



留学生の辞書使用: アンケート調査概要

- (1) 調査時期: 2011年1月~2月
- (2) 調査方法: アンケート調査用紙を配布 / 回答後に回収
- (3) 調査対象: 「全学日本語プログラム」(JLPTUFS) 履修対象者
- (4) 調査内容:
 - ①ふだん使っている辞書について
 - ②辞書に載っている例文の評価
 - ③使用している辞書の詳細
 - ④辞書を使用する際に不便だと感じる事 / 辞書を使用する際に気をつけていること・工夫していること
 - ⑤日本語レベル、国籍、母語、専門、来日回数、日本語学習の目的等
 - ⑥インタビュー調査への協力の可否
- (5) 調査言語: 日本語・英語を併記
- (6) 有効回答数: 117部

➡ 詳細: 鈴木 (2012b)

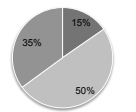


留学生の辞書使用調査

●回答者の日本語レベル

表3 回答者数内訳 (日本語レベル別)

JLPTUFS 日本語レベル	初級			中級			上級		計
	100	200	300	400	500	600	700	800	
回答人数 (人)	13	5	12	25	21	5	20	16	117

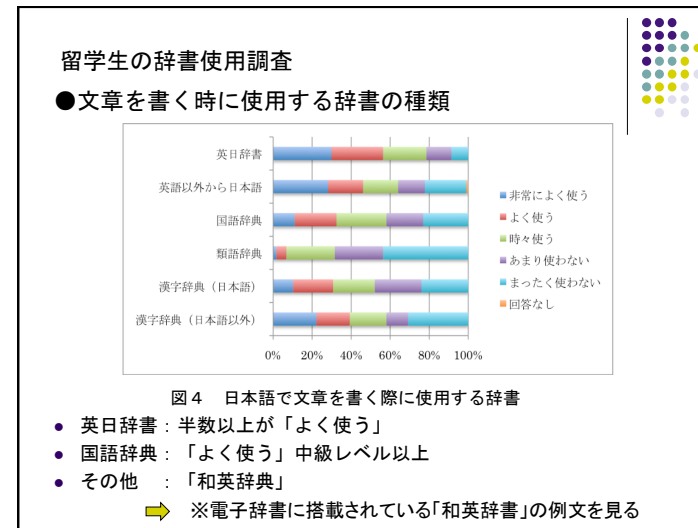
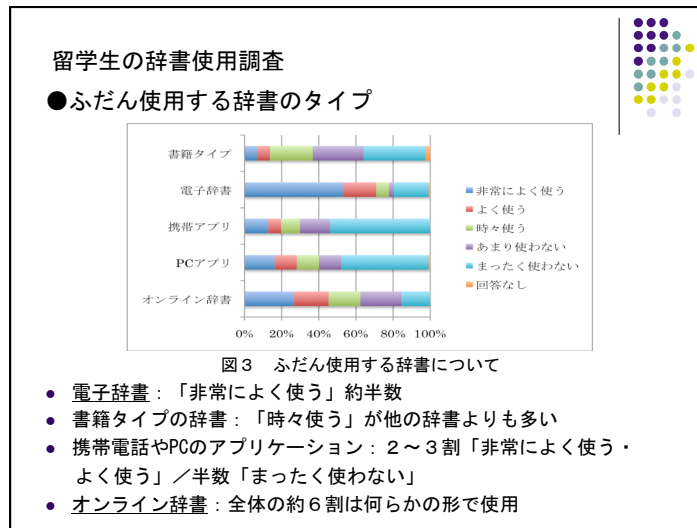


■ 初級レベル(100~200)
 ■ 中級レベル(300~500)
 ■ 上級レベル(600~800)

図2 回答者の日本語レベル

●回答者の国籍

計42の国・地域 (アジア地域50名、欧州49名、北米7名、中南米3名、中東5名、アフリカ2名、大洋州1名)



- ### 留学生の辞書使用調査
- よく使用する辞書アプリケーション・オンライン辞書
- パーソナルコンピュータの辞書アプリケーション
 - 「和漢 wakan」 <http://wakan.manga.cz>
 - 「rikaichan」 <http://rikaichan.mozdev.org/>
 - 「YARXI」 <http://www.susi.ru/yarxi/>
 - 「babylon」 <http://babylon.japan21.co.jp/>
 - ウェブ上のオンライン辞書
 - 「Denshi Jisho-Online Japanese dictionary」 <http://jisho.org/>
 - 「google tranlate」 <http://translate.google.com/>
 - 「Yahoo!辞書」 <http://dic.yahoo.co.jp/>
 - 「和独辞典」 <http://www.wadoku.de/>
 - 「Jim Breen's WWWJDIC」 <http://www.csse.monash.edu.au/~jwb/cgi-bin/wwwjdic.cgi?1C>

留学生の辞書使用調査

●自由記述を求める質問項目

表4 自由記述による回答を求める質問

番号	質問内容
11	辞書を使う時、使い方について、何か気をつけていることや、自分で工夫していることがありますか。あれば、具体的に教えてください。 If you have your own method of using a dictionary or have something you keep in mind when you use a dictionary, please let us know.
12	辞書を使う時、不便だと感じることはありませんか。あれば、具体的に教えてください。 Do you feel any awkwardness in using a dictionary? Please specify if you do.

- 気をつけていること、工夫していること「ある」→ 117名中22名
- 辞書を使う時、不便だと感じること「ある」→ 117名中34名
→ 117名中49名：いずれかに「ある」とし、回答している

留学生の辞書使用調査

●自由記述回答：着目すべきコメント

- 辞書を使う時、不便だと感じること

34名回答 例が少ない・足りない、用法がわからない
ニュアンスが的確でない、訳語が的確でない
日本語を勉強する外国人のためでなく、
外国語を勉強する日本人のための辞書だ
漢字の読み方がわからない時、探るのが難しい
- 辞書を使う時、気をつけていることや工夫していること

22名回答 言葉の使い方が知りたいので必ず例文を見る
例文が見たいから言葉の意味は知っていても
辞書を見る
意味を調べた後に使い方を見る
良い例を探すため複数の辞書を併用する
たくさんの例・良い例を探す

■用法
■例

留学生の辞書使用調査

●自由記述回答：

- 「辞書を使う時、不便だと感じること」
- 「辞書を使う時、気をつけていることや工夫していること」

→ SCAT (Steps for Coding and Theorization)
(大谷 2008) を用いて質的に分析
(分析手続きの明示化、小規模データの分析に应用可能
=「このデータから言えること」、比較可能性・翻訳可能性)

- 辞書の使用は初級レベルから始まっている
- 初中級レベルでの辞書の使用は要注意

学習者のレベル別：
辞書使用についてどんな問題を抱えているか
辞書使用のスキル養成のポイントは？

表5 初級～初中級レベル回答者の自由記述欄回答内容のSCATによる分析

※回答者レベル	性別	国籍	母語1	母語2	専門	辞書よく使用する辞書※の辞書に及ぶ点	辞書を使う時、不便だと感じること	辞書を使う際の工夫	①テキスト中の項目への参照	②テキスト中の項目の読みかた	③左を参照するようなテキスト中の概念	④テーマ・構成概念
1級	男	スイス	オランダ語 フランス語	英語	美術	電子辞書のほうが使いやすい ①	I think an electronic dictionary is much more easier and convenient than a cellphone.	electronic dictionary is much more easier and convenient than a cellphone.	異なる辞書の間の差	認識と実態の相違 ①電子辞書の利便性 ②電子辞書の利便性 ③電子辞書の利便性	多様な辞書ツールの特徴や使用感の違いを直感的に理解	
2級	男	カナダ	フランス語	英語	建築 デザイン	電子辞書の利便性 ①	I don't know why Kotoba dictionary for iPhone never shows any "ま" form for the verbs.	don't know, never shows any "ま" form.	辞書における出し入れの煩雑性	辞書の構成についての基本的理解の不足 ①電子辞書の利便性 ②電子辞書の利便性 ③電子辞書の利便性	辞書の基本的構成、電子辞書の利便性、辞書使用に関する知識の不足 ①電子辞書の利便性 ②電子辞書の利便性 ③電子辞書の利便性	
3級	中級	カナダ	フランス語	英語	国際関係	オンライン辞書	Sometimes, the nuance is strange or wrong for new words I learn from dictionary.	sometimes, nuance is strange or wrong.	しばしば辞書記述のニュアンスが正確でない ①電子辞書の利便性 ②電子辞書の利便性 ③電子辞書の利便性	辞書の記述の不足 ①電子辞書の利便性 ②電子辞書の利便性 ③電子辞書の利便性	辞書の記述の不足、辞書の利便性、辞書使用に関する知識の不足 ①電子辞書の利便性 ②電子辞書の利便性 ③電子辞書の利便性	
4級	中級	フィンランド	フィンランド語	英語	心理学	電子辞書の利便性 ①	If you use it too often you don't remember the word ...	use too often, don't remember the word.	辞書使用の頻度による記憶の低下	辞書使用の頻度による記憶の低下 ①電子辞書の利便性 ②電子辞書の利便性 ③電子辞書の利便性	辞書使用の頻度による記憶の低下、辞書の利便性、辞書使用に関する知識の不足 ①電子辞書の利便性 ②電子辞書の利便性 ③電子辞書の利便性	
<p>ストリーライン</p> <p>初級および初中級レベルの学習者は、携帯電話に搭載されている辞書アプリケーション、インターネットのオンライン辞書などを使用しつつ、多様な辞書ツールの中で、それぞれの辞書使用感の違いを直感的に理解していると思われる。また、辞書の利便性や使用感の不足を直感的に理解している。しかし、辞書はあくまで学習の補助手段とする従来の、限定的な辞書の役割からも脱却できない限り、辞書使用に際する適切な知識の不足は、辞書の利便性や使用感の不足を補填する上で重要な役割を果たす。辞書の利便性や使用感の不足は、辞書の利便性や使用感の不足を補填する上で重要な役割を果たす。辞書の利便性や使用感の不足は、辞書の利便性や使用感の不足を補填する上で重要な役割を果たす。</p> <p>辞書使用のスキル養成のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> 辞書の基本的な構成（見出し語の形・配列・記載内容等）について教師等からオリエンテーションを受ける。 多様な辞書ツールの種類および特徴について、学習者同士で互いに情報をシェアする。 辞書でわからないこと、残存の辞書の問題点や改善について意見交換する。 <p>※1つの辞書に複数の内容が含まれる場合は、同一辞書の異なる複数のセグメントに分割して分析している。</p> <p>※回答者「辞書」は自由記述欄に「辞書」が記載されている場合に抽出して分析している。</p> <p>※辞書、書籍タイプの辞書、電子辞書のアプリケーション、PC、スマートフォンコンピュータアプリケーション、オンライン、ウェブ上のオンライン辞書。</p> <p>※「辞書」は自由記述欄に「辞書」が記載されている場合に抽出して分析している。</p>												

留学生の辞書使用調査

●自由記述回答のSCAT分析から

- 初級～初中級レベル

多様な辞書ツールの特徴や使用感の違いを直感的に理解
学習の補助手段として少しずつ辞書等を使用
- 中級前期レベル

辞書の操作面に関わる不便感、辞書の記載内容の不十分さ
(語の使い方がわからない)なども指摘
- 中級中盤レベル

語彙数の不足、良質な例文の不足、関連語の情報不足など
問題点を客観的に把握

多様な辞書ツールの種類・特徴
操作方法の疑問と解決法
実際の例に沿って何をどのように使うか

複数の段階で
情報シェアを

留学生の辞書使用調査

- 辞書ツールの使用を積極的・肯定的に学習ストラテジーの1つとしてとらえる
- 学習者の辞書使用のスキル養成
 - 文章表現カリキュラム等：実際の課題に即して
 - 「こんな時、どう辞書を利用するか」
 - 「こんな辞書は、どんな使い方ができるか」
 - 種類・使い方などの情報をシェア
- 学習者の日本語熟達度を示す「Can-do statements」
 - 「書く」活動に関わる方策（中級～）
 - 「辞書ツールを使用し、的確な表現を探し出すことができる」等の記述

留学生の辞書使用調査

- インタビュー調査

表6 インタビュー調査対象者

実施日	インタビュー対象者			
	日本語レベル	国籍	母語	性別
2010年7月15日	上級～超級	ポーランド	ポーランド語	女
2011年7月14日	上級～超級	ベトナム	ベトナム語	女
2011年7月21日	上級～超級	ベトナム	ベトナム語	女
2011年7月21日	上級～超級	チェコ	チェコ語	男
2011年8月1日	上級	ポーランド	ポーランド語	女
2011年8月1日	初級～中級	中国	中国語	女
2011年8月3日	超級	インド	ヒンディー語	女
2011年8月3日	上級～超級	ルーマニア	ルーマニア語	男

- ふだんどのような辞書をどのように使用しているか
辞書を使用した作文をもとに、辞書の使い方について確認

留学生の辞書使用調査

- インタビュー調査から
- 総体としての日本語の学習：
 - 辞書を使うことも日本語の学習活動の1つ
 - 「書く」ことの基盤に「読む」ことがある
- 文法・語彙の知識は有用：
 - 文法・語彙の基礎的知識
 - 漢語を構成する要素としての漢字の認識
 - 関連語に関わる知識
- 辞書に求められるもの：
 - 良質かつ豊富な例文

インタビュー調査結果から

- 辞書を使うことは日本語の学習活動そのもの
 - 自律的な学習姿勢を持っている学習者にとって単に学習を補助する手段だけではない
 - 自覚的な学習活動も伴う
(ノートをとる、例文を書きとめておく、対訳形式の語彙帳を作る等)
- 「書く」ことの基盤には「読む」ことがある
 - 「読む」活動を通じて、書く時に必要となる語・表現が準備される
 - インプットの段階で辞書を使用し、語や表現の意味・使い方を調べ、必要な表現はノートにとっておく等

インタビュー調査結果から

- 文法・語彙の基礎的知識
 - 辞書の記載内容を理解し応用する際に必要
- 基本的な文法・語彙知識
 - 語を入れ替える、構造を変えて文法的に的確な文を作り出す等、辞書の記載内容を応用することができる

■「書く」ために辞書を効果的に使用するには
→ 初中級レベルから?
(基本的な文法・語彙を習得した段階)

⇒

応用力不足 → 不自然な表現を誘発する恐れ

インタビュー調査結果から

- 漢語を構成する要素（字音形態素）として漢字を認識
 - 個々の漢字の意味・読み方(特に音読み)の知識
漢字を構成要素として持つ「漢語」の知識
- 表現したい意味を表す的確な漢語表現を探し出す際に有用
【例】
 - ・ 「さそう」という意味を表す漢語表現を探したい
→ 「誘(ゆう)」を含む漢語を調べる
 - ・ 「音楽CDの中にある曲が“入っている”ことを表現したい
→ 「掲載」「搭載」などの語から「載」を含む漢語を調べる
 - ・ 「書くこと・作ること」を漢語で表したい
→ 「著作」の「著」は使えるか

インタビュー調査結果から

- 広く関連語に関わる知識
 - 類義語・反義語(同一の意味分野に属する語)だけでなく、より広い意味での関連語(同一の場面やトピックで用いられる語)
- ある特定の概念を表す語を探し出した時の手がかり
【例】
 - ・ 日本文化に関わる「結納」という概念を表す語を探したい
→ 関連概念の中から、例えば「結婚」という語を手がかりに辞書の例文を利用し、目指す語を探す
- 第二言語(例・英語)の辞書を使用する場合にも

インタビュー調査結果から

- 「例文」の意義：「使い方」を知ることができる
- 電子辞書に搭載されている複数の辞書の中で
→ 「和英辞典」をよく見る」:
日本語の英語訳を見るためではなく、
そこに掲載されている日本語の「例文」を見るため

良質かつ豊富な例文 ⇒

- 基本的な語彙
- 文法構造にねじれない
- 統語的・意味的な文脈の多様性

4. 本発表のまとめ

- 「JLPTUFS作文コーパス」
- 留学生の辞書使用調査
(アンケート・アンケート自由記述欄・インタビュー)

➡ 辞書ツールの使用を積極的・肯定的に
学習ストラテジーの1つとしてとらえる

- 学習者の辞書使用のスキル養成
「Can-do statements」への組み込みも
- 学習リソースである辞書のさらなる改善・発展
良質・豊富な例文にアクセス可能に
→ 必要とする文脈で使用可能かどうかの判断に役立つ



● 参考文献

- 大谷 尚(2008)「4ステップコーディングによる質的データ分析手法SCATの提案—着しやすく
小規模データにも適用可能な理論化の手続き—」『名古屋大学大学院教育発達科学研究科紀要
(教育科学)』第54巻第2号, pp.27-44
- 国際交流基金 (2009) 『JF日本語教育スタンダード試行版』独立行政法人国際交流基金
- 鈴木智美 (2010) 「辞書の使用が引き起こす学習者の不自然な表現—『JLPTUFS作文コーパス』の作文から
見えてくること—」『2010世界日本語教育大会 (ICJLE) 予稿集』(DVD版) 1436-0-1436-9
- 鈴木智美 (2012a) 『留学生の文章産出時における辞書使用の実態調査—言いたい日本語はどう見つけるか—』平成22年度 (2010年度) ~平成23年度 (2011年度) 科学研究費補助金挑戦的萌芽研究研究成果報告
書 (課題番号: 22652047、研究代表者: 鈴木智美) 東京外国語大学留学生日本語教育センター 鈴木智
美 (編著)
- 鈴木智美 (2012b) 「留学生の辞書使用に関する実態調査—東京外国語大学で学ぶ留学生へのアンケート
調査の結果と分析—」『東京外国語大学留学生日本語教育センター論集』第38号 pp. 1-16
- 鈴木智美 (2012c) 「JLPTUFS作文コーパスの構築と今後の展望—日本語教育アーカイブ化構想への足がか
りとして—」東京外国語大学留学生日本語教育センター統合20周年記念国際シンポジウム『これからの
教材開発・教育リソース研究を考える』分科会1「日本語教育研究リソースとしてのデータベースの構
築と利用」予稿集 pp. 38-39
- 鈴木美加・藤森弘子・藤村知子・鈴木智美・中村彰・坂本恵・花園悟・伊集院郁子 (2012) 「日本語学習
における目標記述をめぐって—全学日本語プログラムのcan-doリスト作成に向けて—」『東京外国語大
学留学生日本語教育センター論集』第38号 pp. 155-166
- 鈴木美加・藤森弘子・藤村知子・鈴木智美・中村彰・花園悟・伊集院郁子 (印刷中) 「大学教育における
日本語コースのCan-do設定—日本語の技能を言語知識や態度と結びつけた記述の試み—」『東京外国語
大学留学生日本語教育センター論集』第39号 pp. 65-82
- 東京外国語大学留学生日本語教育センター (2011) 「JLC日本語スタンダース(2011改訂版)」
- 東京外国語大学留学生日本語教育センター 鈴木智美・中村 彰 (編) (2011) 『「JLPTUFS作文コーパス」
の構築』留学生日本語教育センター教育研究開発プロジェクト「JLPTUFS作文コーパス」報告書 (デ
ータCD別添)

